

のぞみ保育園自己評価

○力を入れて取り組んでいること

- ・子どもが主体であるように、まず子どもの気持ちに共感して、その子に合わせて援助している。

子どもが自分で考えて選択し自ら行動する力を育てる、子ども主体の保育に取り組んでいる。子どもが自由に遊び込みながら、遊びが展開していくように、各保育室でコーナー遊びを取り入れている。年長児は、テーマを設定して主体的に学ぶすくわくプログラムや、幼児クラスではサークルタイムを設けている。子どもに接するときは子どもの気持ちに共感することを大切にして、否定語を使わないように心がけている。一人ひとりの個性やペースを把握して、集団生活に入れない子に様子を見て声をかけて援助する等、その子に合わせる配慮をしている。

- ・地域との交流に取り組み、子どもたちが日常的に様々な人と接する機会を設けている。

法人内の高齢者施設とは、一緒に制作をしたり、行事の練習を見てもらう等交流を図っている。法人内の学童クラブとは、行事に年長児が参加したり、遊びに行く等して交流している。都立高校の生徒とは1年を通して互いに行き来をして交流を図っている。小学校の行事に5歳児を招いていただいたり、園行事に卒園児を呼ぶ機会も設定している。区内の保育園の年長児と近隣の公園で交流する機会もある。

- ・年間防災計画に基づく訓練を行い、日常のリスク対策を含む安全管理体制を整備している。

年間の防災計画に沿って毎月の避難訓練を実施している。実施後は職員会議で振り返り、課題を整理して次の計画に反映させている。日常のリスクに対しては、安全衛生会議・安全対策会議・研修報告等による情報共有や、ヒヤリハット報告の収集・分析、改善に向けての話し合いにより安全な環境整備に努めている。

○今後取り組むべきこと

・連絡帳等の ICT 化の推進

パソコン等ハードウェアを整備し、今年度中に連絡帳の電子化を進める。

・アレルギー対応やプール等マニュアルの見直し

・誤食等事故対応訓練の充実

安全計画策定時に検討する。